

【少年の部】 大会規定及び注意事項

1 試合回数、試合時間、コールドゲーム等

- * 試合回数は、7 回戦とする。日没/降雨時の試合成立は 5 回終了時とし、試合が成立しない場合は、再試合とする。
- * 試合時間が 1 時間 3 0 分過ぎたら、以降新しいイニングに入らない。
- * 全試合で点差によるコールドゲームを適用する。(4 回 1 0 点差以上/5 回以降 7 点差以上)
- * 規定時間/規定回数終了時に同点の場合は、特別延長戦(無死一・二塁、継続打線)を最大 2 回行い、それでも同点の場合は審判員立ち会いのもと最終出場メンバー 9 選手の抽選で決する。

2 投球制限

投手の投球数は少年の場合 1 日あたり 100 球までとする。

これを超える場合は投手を交代しなければならない。

(必携【競技に関する連盟特別規則八】・【東京都軟式野球連盟取り決め事項に準ずる】)

3 ベンチ、先攻/後攻

組合せ番号の若いチームを一塁側とし、攻守は審判員立ち会いのもと主将のジャンケンで決める

4 試合前の練習

外野でのみ他の試合・他のチームの練習に影響を与えない範囲で可とする。バットの使用も可とするが、フリーバッティングは不可とする。(球場外でもキャッチボール/バットの使用は不可)

5 用具、ユニホーム

- * JSBB 公認のヘルメット(8 個以上)、捕手用のプロテクター/ヘルメット/レガース/マスク/ファウルカップ/金属製バットを使用のこと。
- * ユニホーム(帽子/アンダーシャツ/ストッキング/ソックス等を含む)は、選手/監督/コーチ共に同一のものを着用すること。また金属スパイクは、少年の部は可とする。

6 ベンチ入り

- * 選手 25 名/代表者/監督/コーチ 2/マネージャー/スコアラーの 31 名以内とする。
- * 代表者/マネージャー/スコアラーは統一の帽子を着用のこと。
- * 代理監督は、事前に大会本部の承認を得、コーチより選出のこと。
- * 選手の水分補給など援助する為、父母 2 名以内のベンチ入りを可とする。

7 グラウンドルール

試合開始前に、担当審判員より両監督に説明する。

8 メンバー表、試合球

- * メンバー表は本部にて用意した所定の用紙に 4 部作成し、試合開始 3 0 分前までに本部に提出し承認を得ること。
- * 試合球は、大会本部で用意する。

9 審判員

- * 審判員は足立区・墨田区・江戸川区・江東区・葛飾区の各連盟の審判員とする。
- * 審判団で処置できない事項は、大会本部と協議の上決定する。

1 0 適用規則

本規定に記載のない事項については、東京都軟式野球連盟規則、並びに、当該年度の『公認野球規則』『競技者必携』に記載の各種規則等を適用する。

尚、本規定と上記規則等との間で齟齬がある場合は、本規定を適用する。

1 1 その他

- * マナーアップにご協力ください。また、ゴミは責任をもって持ち帰ってください。
- * 場外ファウル等の処理は、大人の方をお願いします。
- * 球場への往復は、事故の無きよう、充分にご注意ください。
- * 万一選手等が怪我をした場合、当実行委員会及び当連盟は責任を負いかねます。各チームが加入しているスポーツ安全保険の保証範囲内に於いて、当事者同士/保護者が誠意をもって和解に努めて下さい。